

目 的

ブラウントラウトは、国際自然保護連合の「世界の侵略的外来種ワースト 100」に挙げられており、近年では本州の河川での侵入・定着が確認されている。¹⁾ 2020 年度の調査において本県でもブラウントラウトの侵入が確認されたことから、²⁾ 引き続き侵入状況を調査した。

- 3) 酒井忠幸・村井涼佑. ブラウントラウト侵入状況調査. 栃木県水産試験場研究報告 2022 ; 66 : 33.

(指導環境室)

材料および方法

2022 年 12 月 2 日に那珂川支流の黒川上流域（豊原橋付近）において、電気ショッカーによる採捕を行った。採捕時間は 2 時間、採捕者は 2 名とした。

結果および考察

ブラウントラウト 16 尾が採捕された。これまでの調査では、採捕されたブラウントラウトのほとんどが全長 25cm 以下だったが、²⁾³⁾ 今回の調査では全長 25cm 以上の比較的大型の個体が 7 尾採捕された。今年度の調査はこれまでよりも上流の区域で実施したことから、黒川に侵入したブラウントラウトは上流域で繁殖している可能性が高いと考えられる。また、黒川流域では支流の小河川や水路等でもブラウントラウトが侵入しているとの情報が寄せられており、こうした水域においても調査を行っていくことが必要と考えられる。

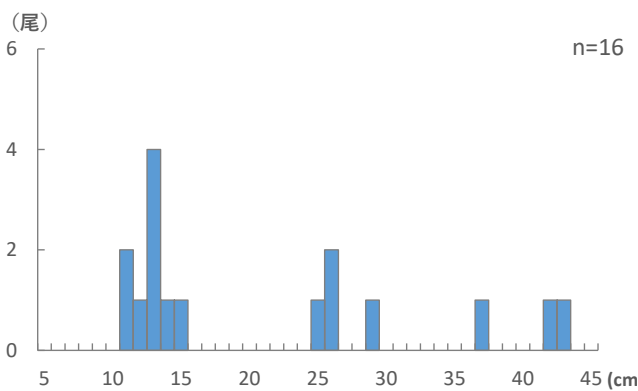


図 1 ブラウントラウトの全長組成

参考文献

- 1) 長谷川功. 外来サケ科魚類ニジマス・ブラウントラウトの定着メカニズムと在来生態系への影響. SALMON 情報 2016 ; 10 : 8-15.
- 2) 酒井忠幸・渡邊長生・村井涼佑・森竜也・野中信吾・関戸章一. ブラウントラウト侵入状況調査.